

### 【個別原価計算 演習問題】

原価計算表を完成しなさい。ただし、各指図書に対する製造間接費の配賦額は、直接労務費法による。

### 答案

原価計算表

指図書# 摘要	#1	#2	#3	#2-R1	合計
月初仕掛品原価	198,000	( )	—	—	( )
直接材料費	( )	263,000	( )	58,000	543,000
直接労務費	180,000	( )	232,000	( )	( )
直接経費	27,000	38,000	( )	6,000	83,000
製造間接費	( )	425,700	382,800	( )	1,188,000
小計	( )	( )	( )	( )	2,800,000
補修費	—	( )	—	△( )	0
合計	( )	( )	750,800	0	2,800,000
備考	完成	完成	未完成	#2へ賦課	

### 【製造間接費 演習問題】

次の資料にもとづいて、製造間接費の配賦方法として、(1)直接労務費法による場合と(2)直接費法(直接原価法)による場合の①製造間接費配賦率、製造指図書#101の②製造間接費配賦額、および③製造原価をそれぞれ求めなさい。

#### 1. 製造間接費配賦率の算定資料

製造間接費年間予算額	¥	34,560,000
年間の直接材料費	¥	23,040,000
年間の直接労務費	¥	28,800,000
年間の直接経費	¥	5,760,000
年間の直接作業時間		40,000 時間

#### 2. 当月の製造指図書#101に関する資料

直接材料費	¥	540,000
直接経費	¥	60,000
直接作業時間		450 時間
3. 直接工の予定消費賃率		@¥820

### 答案

配賦方法	①製造間接費配賦率	製造指図書 #101	
		②製造間接費配賦額	③製造原価
(1)直接労務費法	%	¥	¥
(2)直接費法	%	¥	¥

## 【標準原価計算 演習問題】

標準原価計算制度を採用しているさくら工業株式会社の以下の資料にもとづいて、仕掛製造間接費勘定の記入を行いなさい。ただし、仕掛製造間接費勘定の借方に製造間接費の実際発生額を記帳する方法による。

1. 製品 1 個あたりの標準直接作業時間 0.6 時間
2. 標準配賦率 ¥1,260
3. 当月実際直接作業時間 1,510 時間
4. 当月製造間接費の実際発生額
  - ① 工場消耗品：月初棚卸高¥28,880 当月購入高¥110,000  
月末棚卸高¥36,080
  - ② 間接工賃金：前月末未払額¥111,400 当月総支給額¥830,000  
当月末未払額¥104,000
  - ③ 電力料：当月支払額¥256,300 当月測定額¥241,200
  - ④ その他の諸経費：支給額および発生額¥729,000

### 5. 生産データ

月初仕掛品	0	個	
当月投入	2,700		
計	2,700	個	
月末仕掛品	500		(加工進捗度 60%)
当月完成品	2,200	個	

## 答案

### 仕掛製造間接費

工場消耗品	( )	製 品	( )
賃金給料	( )	配布差異	( )
電力料	( )	次月繰越	( )
諸 口	( )		
	( )		( )
前月繰越	( )		

## 【連産品 演習問題】

連産品原価計算表と仕掛品勘定を完成しなさい。

答案

連産品原価計算表

製品名	正常市価	等価係数	生産量	積数	あん分原価	単位原価
A 製品	@¥7,500	( )	500 kg	2,500	(¥ )	(@¥ )
B 製品	( )	3	1,000	( )	( )	( )
C 製品	1,500	( )	1,700	1,700	( )	( )
				( )	¥4,896,000	

仕 掛 品

前月繰越	320,000	諸口	( )
諸口	5,005,000	次月繰越	( )
	( )		( )
前月繰越	( )		

## 【直接原価計算 演習問題】

<154 回類題> 直接原価計算

1. 次の資料により直接原価計算（直接費＝変動費のみで製造原価を計算する方法）方式によるP/Lを作成しなさい。

### イカ焼きお土産セット

売価@1,600 円

変動費（小麦粉・イカ）	540,000 円	}	製造原価
変動加工費（電気代等）	738,000 円		
固定加工費（リース料）	414,000 円		

営業マンの歩合給(変動費) 1個売るごとに@154円		}	販売管理費
一般管理費（事務所家賃）	204,000 円		
固定販売費（営業マン固定給）	126,000 円		

今月は 1,800 個生産（月初月末の仕掛品・月初の製品在庫なし）して、1,500 個販売

2. 向いに「ちょぼ焼」の店ができたため、来月は 1,400 個の販売に減少しそうである。現在の営業利益を確保するには、固定費総額をいくらにしなければならないか？（営業マンの給料を下げるのか？リース会社に交渉するのか？悩みます）



たこ焼きとお好み焼きを  
足して2で割った感じ  
ポンズ味がウマイです

損益計算書

I	売上高	( )
II	変動売上原価	<u>( )</u>
	製造マージン	( )
III	変動販売費	<u>( )</u>
	限界利益	( )
IV	固定費	<u>( )</u>
	営業利益	( )

現在の営業利益を確保する為の固定費総額 ( )

<回答>

I	売上高	( 2,400,000)
II	変動売上原価	<u>( 1,065,000)</u>
	製造マージン	( 1,335,000)
III	変動販売費	<u>( 231,000)</u>
	限界利益	( 1,104,000)
IV	固定費	<u>( 744,000)</u>
	営業利益	( 360,000)

現在の営業利益を確保する為の固定費総額 ( 670,400 )

売上高が変化する→変動費も変化する→限界（貢献）利益がわかる→固定費引くと営業利益

太字が各 4 点

<応用問題>

<損益分岐点を求めなさい（円未満切捨）>

<損益分岐点比率を求めなさい（小数点第 2 位を四捨五入）>

<安全余裕率を求めなさい（小数点第 2 位を四捨五入）>

<直接原価計算の営業利益を利用して全部原価計算の営業利益を計算しなさい>

全直末首、加減して（うわさの全直末首です）

上記回答

損益分岐点=1,617,391、損益分岐点比率=67.4%、安全余裕率=32.6%

全部原価計算の営業利益=

直接原価計算の営業利益

+ 月末棚卸資産に含まれる固定製造間接費

- 月初棚卸資産に含まれる固定製造間接費

製品	
固定製造間接費 414,000 円	販売数 1,500 個
	在庫数 300 個

月末棚卸資産に含まれる固定製造間接=414,000×300÷1,800=69,000

∴ 全部原価計算の営業利益=360,000+69,000=429,000 円